

小学校
中学年

図書館員がおすすめる本



★発行：志布志市立図書館
★お問い合わせ先：099-472-3322



有明分館
(820927333)

『どんなイチゴも、みんなかわいい』

葦原 かも/作
中田 いくみ/絵 童心社

目立つことが苦手な小学3年生の女の子あや。だけど、ある出来事をきっかけにあやの生活は不思議な魔法がかかったみたいに変わっていき…。あやが学校生活を通して、少しずつ成長していくお話です。



(820927580)

『じゅげむの夏』

最上 一平/作
マメイケダ/絵 佼成出版社

「最高の夏休みにしよう。」筋ジストロフィーの親友、かっちゃんの提案でぼくたちは冒険を計画した。一緒に冒険を楽しもう！どきどきわくわく、そして心にジーンとくるお話です。

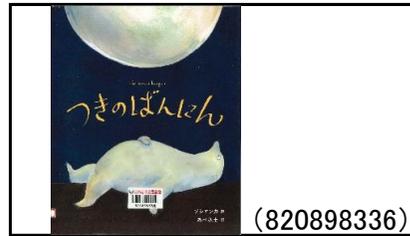


(820738763)

『たんぽぽの目』
村岡花子童話集』

村岡 花子/文
高島 那生/絵 河出書房新社

2014年NHKの朝ドラ「花子とアン」で主人公の村岡花子さんの童話集です。村岡花子さんは、赤毛のアンの翻訳者で有名な方です。26篇の作品すべてが心温まるお話で書かれています。



(820898336)

『つきのぼんにん』

ゾシエンカ/作
あべ 弘士/訳 小学館

月の光を見守る「つきのぼんにん」にえらばれたシロクマのエミール。
ある日、少しずつ月が消えてしまっていることに気がついて不安になります。ゆめのようなしずかな世界とやさしい言葉が、月のみかけについて教えてくれるお話です。



(820908572)

『すずばあちゃんのおくりもの』

最上 一平/文
黒井 健/絵 新日本出版社

すずばあちゃんは90歳をすぎて一人暮らしをしています。すずばあちゃんは、畑ごとをおえると、草花の種を村のあちらこちらにまいて花を咲かせます。花が好きでとくに「のぎく」を自分の子どものようだと…。戦争の辛い思い出、平和への願いをやさしく語りかけてくれるお話です。

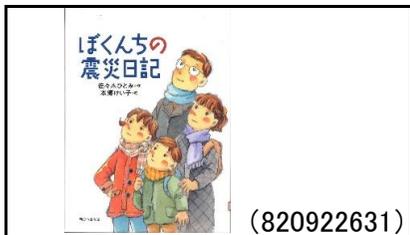


(820912079)

『バスが来ましたよ』

由美村 嬉々/文
松本 春野/絵 アリス館

病気で目が突然見えなくなったわたしは、仕事へ行くためにバス停へ。何も見えない不安でいっぱいの中、バス停で小さな声と手で助けてくれた女の子。それから定年するまで、毎日子どもたちに助けられバスに乗ることができた。目の見えなくなった私を子どもたちがずっと支え続けてくれた本当のお話です。

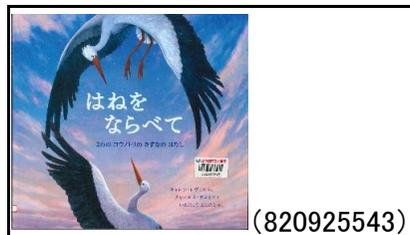


(820922631)

『ぼくちの震災日記』

佐々木 ひとみ/作
本郷 けい子/絵 新日本出版社

東日本大震災から4日間、仙台市中心部で暮らす家族を小学生の友樹くんの視線で描いた物語です。家族も自宅も無事でスーパーや給水所で争いもなく、父が失業するでもない。ライフラインも数日で復旧した。震災体験にみえる父の伝える言葉がとても胸に刺さり感動するお話です。



(820925543)

『はねをならべて』
2羽のコウノリのきずなのはなし』

キャレン・レヴィス/さく
チャールズ・サントソ/え
いわじょう よしひと/やく BL出版

どんなときも、ずっといっしょのコウノリのクレパタンとマレナ。冬の間、あたたかい南に旅立つコウノリですが、ある日マレナが大けがをしていっしょに行けなくなってしまいます。2羽の絆はどうなってしまう…？実話をもとにしたお話です。



(820881985)

『探検！ いっちょかみスクール』
魔法使いになるには編

宗田 理/作
静山社

自由奔放なユトリとしっかり者の礼司。ある日、ユトリが「わたし、まほう使いになるよ」と言いだし、礼司はユトリのお目つけ役として、いっしょにあやしい塾へ入ること。そこはありとあらゆる「その道のプロ」が集まった通称「いっちょかみスクール」、気づけば2人はその動の中心にいて！個性豊かな登場人物もみどころです。



(820915544)

『ニヤンの日にまいきります！』

木内 南緒/作
酒井 以/絵 岩崎書店

親の離婚でみよじが変わり、クラスメートからいじわるを言われるようになった。サビ猫を捨てたから不思議な夢がはじまった。そして、自分のまわりの人もやさしく変わっていく。自分を認めて受け入れる場所があることの大切さ、それが夢の世界であったとしても…。もしかするとあなたの心にも大切な場所が見つかるかもしれません。